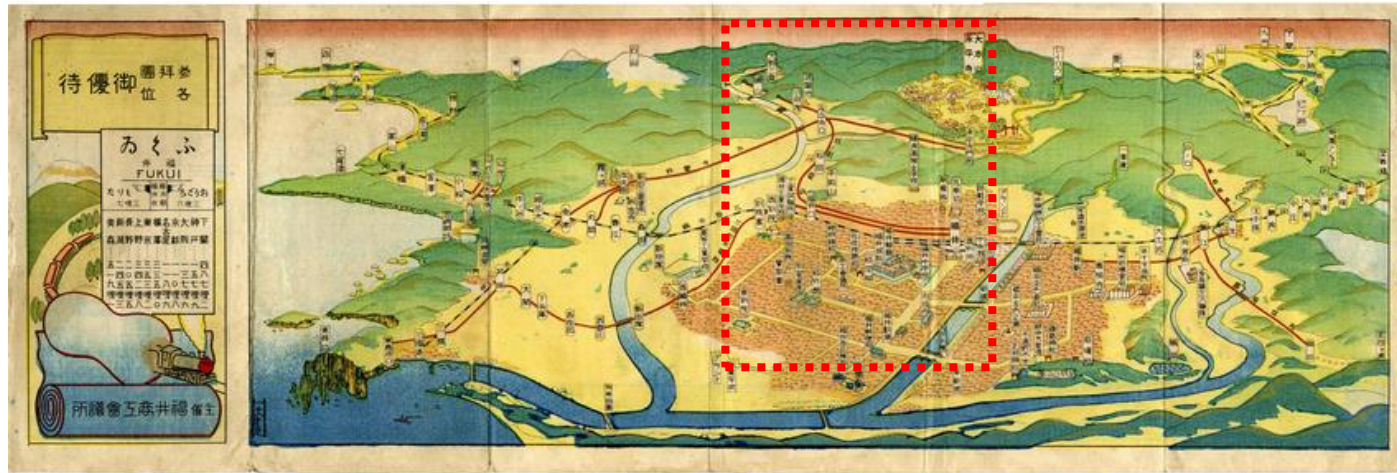
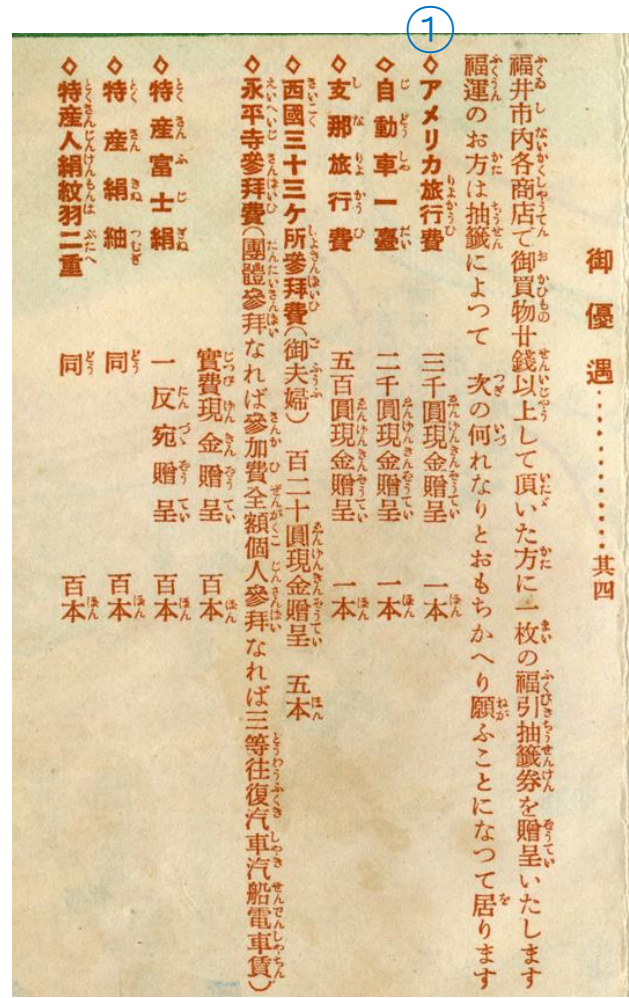
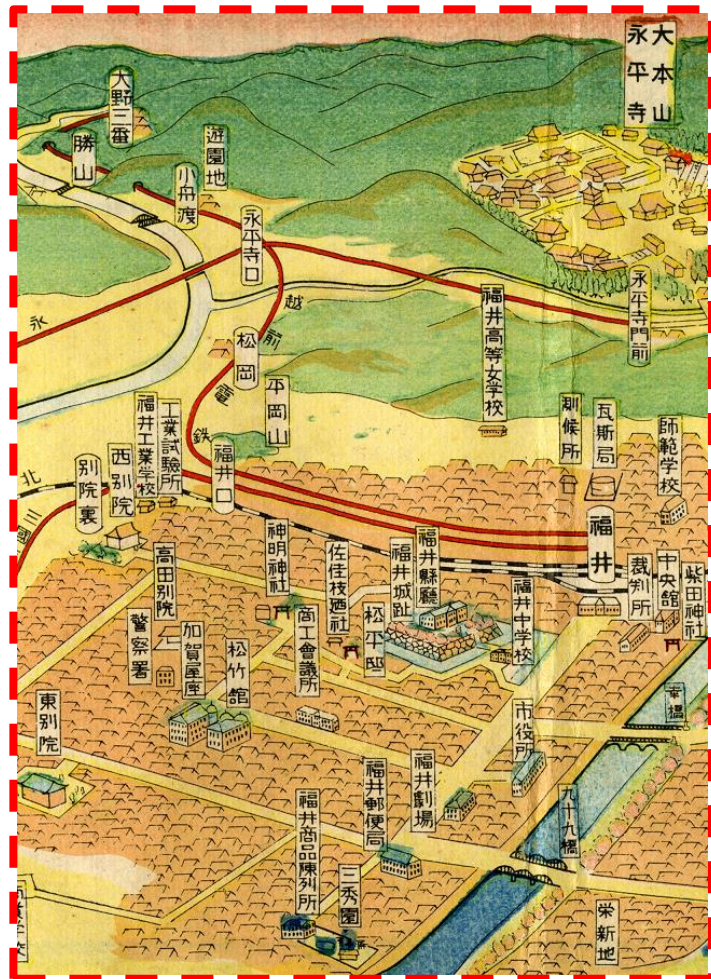


昭和初期の福井市鳥瞰図（永平寺参拝団向けの優待）



年末詳「永平寺大遠忌参拝団各位御優待」 発行 福井商工会議所
橋本伝右衛門家文書（当館蔵）[デジタルアーカイブへ](#)



(裏面)

解説

大正から昭和初期にかけては、私鉄・電鉄を中心とする鉄道網が整備され、さらに乗合自動車やタクシーなどの自動車の運行も普及し、地域の交通体系は大きな発展を遂げました。人びとの移動はますます活発となり、新しいレジャーの楽しみ方として観光や遊覧、行楽がにわかに脚光を浴びるようになりました。

福井とのかかわり

1930年（昭和5）4月24日から5月14日まで、永平寺において二祖孤雲禪師の650回忌（永平寺大遠忌）が行われました。檀信徒800万人という永平寺最大の行事だけに、このとき全国から数十万人の参拝客が来県しました。この機を逃さずに地域振興をはかるべく、福井商工会議所が主体となり、大遠忌の期間中に参拝客に無料入浴券や映画招待券などを発行し、また福引懸賞抽選券つき大売り出しや記念スポーツ大会などを実施しました。

また参拝客のための鉄道網の整備も図られ、1929年（昭和4）には越前電鉄福井―大野間の永平寺口駅から国鉄金津駅までの軌道が完成し、福井と金津両駅から参拝できるようになりました。

資料の注目ポイント

資料は、大遠忌に際して福井商工会議所が発行した県外参拝客向けのパンフレットです。表面の地図は坂井・福井・鯖江を中心とした鳥瞰図で、主要な場所や鉄道網などが記載されています。市役所や郵便局など現在と異なる立地や、既に廃線となった鉄道（永平寺鉄道、鯖浦鉄道、南越鉄道）なども見受けられます。

裏面には、銭湯代や散髪代の免除など、各種優待が紹介されています。最大の目玉は1等3000円のアメリカ旅行などが当たる福引①でした（当時の大卒初任給（月給）は約60円）。しかしあまりに豪華すぎるということで国から指導が入り、アメリカ旅行や自動車は中止となりました。

他の景品をみると、「絹紬」や「人絹紋羽二重」など絹製品が多いことから、「人絹王国」福井の特徴がうかがえます。

関連資料、展示等

名称	概要	備考
「永平寺大遠忌参拝団各位御優待」	発行、福井商工会議所 橋本伝右衛門家文書（当館蔵） 資料番号 A0163-00108	デジタルアーカイブ福井で閲覧可能。 https://www.library-archives.pref.fukui.lg.jp/archive/da/detail?data_id=011-324302-1-p1
「福井市鳥瞰図」	1933年（昭和8）、福井市役所発行、 吉田初三郎作成。福井県立図書館貴重 資料 資料番号 T0001-00003	デジタルアーカイブ福井で閲覧可能。 https://www.library-archives.pref.fukui.lg.jp/archive/da/detail?data_id=012-1002503-1-p1 昭和初期の福井県下の市町村を描いた吉田初三郎作の鳥瞰図は、県立図書館・県文書館に複数点所蔵があります。

参考文献

解説

- ・『図説福井県史』 近代 18 観光・行楽ブーム
- ・『福井県史』 通史編5 第五章 大正期の産業・経済 第四節 社会資本の整備 二 地方鉄道の敷設
- ・百年史編纂委員会「永平寺大遠忌参拝歓待会開く（5年）」『福井県商工会議所100年史』（福井商工会議所、1982年）
- ・百年史編纂委員会「永平寺大遠忌参拝歓待会開く（5年）」『福井県商工会議所100年史』（福井商工会議所、1982年）